

令和3年6月18日開催教育委員会会議記録

1 開会・閉会等について

開催日	令和3年6月18日（金）		
場 所	教育委員会室		
開 会	午後3時00分		
閉 会	午後3時50分		
出席委員			
教 育 長	加 藤	裕 之	
委 員	阿 部	博 道	
委 員	坂 根	慶 子	
委 員	浅 松	三 平	
委 員	白 石	祐 一	
説明のために出席した職員			
教育委員会事務局次長	青 木	剛	
教育委員会事務局参事 （庶務課長事務取扱）	宮 本	知 幸	
学 務 課 長	西 村	克 己	
指 導 室 長	加 藤	康 弘	
すみだ教育研究所長	宮 本	佳 代 子	
地域教育支援課長	堀	啓 一	
ひきふね図書館長	高 村	弘 晃	

2 議題について

（1）報告事項

第1 教育課題の進捗状況について（資料1）

第2 墨田区学校施設長寿命化計画の策定について（資料2）

第3 令和2年度定期監査（第2回）等の結果に基づき区長等が講じた措置の公表について（資料3）

3 会議の概要について

- **教育長** それでは、本日の教育委員会を開会いたします。本日の会議録署名人は、白石委員にお願いします。

報告事項第1・・・資料番号【資料1-1～1-3】

「教育課題の進捗状況について」、指導室長、すみだ教育研究所長が資料のとおり説明する。

- **指導室長** （「新学習指導要領への対応」について説明。）
- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。
- **坂根委員** ②教員研修の「オンデマンド1件」の対象者や内容について教えてください。
- **指導室長** 小学校の教員を対象にした英語の研修です。
- **坂根委員** 事前に作成した動画を配信したのですか。
- **指導室長** はい。
- **白石委員** ①英語の「ブリティッシュ・ヒルズ」で行う体験学習の実施期間はいつですか。
- **指導室長** 8月25日から4泊5日です。
- **白石委員** 例年出発式があったと思うのですが、今年は実施するのでしょうか。
- **指導室長** 出発の日の朝8時半から、例年より時間を短縮して行う予定です。
- **指導室長** （「オリンピック・パラリンピック教育の推進」について説明。）
- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。
（質疑なし）
- **すみだ研究所長** （「学力向上新3か年計画（2次）の推進」について説明。）
- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。
- **浅松委員** 9月に都の調査があるとのことですが、具体的な日程はいつでしょうか。
- **すみだ教育研究所長** 今年度は9月6日から9月14日にかけてウェブ上で実施されます。
- **教育長** 都の調査は、学力調査ではないですね。
- **すみだ教育研究所長** 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」という名称で、学習意欲などに関する調査です。

報告事項第2・・・資料番号【資料2-1～2-31】

「墨田区学校施設長寿命化計画の策定について」庶務課長が資料のとおり説明する。

- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。
- **坂根委員** 資料2-21「長寿命化のイメージ」の表の中央に長寿命化改修（機能向上）とあり、その中に「コンクリートの中性化対策」とありますが、これは、コンクリートがさびる。だから、鉄筋がさびないように化学反応で中性化するわけですね。
- **庶務課長** はい。
- **坂根委員** 具体的な作業内容としては、外壁にペンキを塗るのですか。
- **庶務課長** 中性化対策の一つとして、ペンキによる被覆を行い、コンクリート躯体の中性化予防を行う工法もありますが、様々な工法の検証を行い、計画的に予防保全という形で実施していきます。併せて、コンクリート躯体の強度等についても定期的に調査を行い、状況確認をしていきたいと思っています。
- **坂根委員** 中性化の対策は、新しい技法も含めて検討しながら、進めていくのですね。

- **庶務課長** 文科省のHPでも中性化における対策について、様々な事例を挙げているので、そのような事例を参考にしながら対策を検討していきたいと考えています。
- **坂根委員** 資料2-21「長寿命化のイメージ」の表の中央にある、「耐久性に優れた仕上材への取り替え」とは、例えば新しく開発された素材に取り替えることで、コストをカットできたり、耐用年数が延びるということですか。次に、その下に記載のある「多様な学習内容・学習形態への対応」とは、GIGAスクール構想推進のために、ICT化に対応するような内容なのでしょうか。
- **庶務課長** 改修に際し、耐久性に優れた建築資材を採用することは、トータルコストの縮減、耐用年数の延長に寄与すると考えています。また、「多様な学習内容・学習形態への対応」については、ICT機器を活用した授業を推進していく中で、様々な機器や机のレイアウトに対応した教室が必要となるため、そういった変化に沿う改修を考えていきたいと思います。
- **坂根委員** 計画の途中でも見直しをしながら進めていく、ということですね。
- **庶務課長** 計画期間は10年間としていますが、社会状況の変化等に応じて、必要があれば計画の見直しを行いたいと考えています。
- **阿部委員** 施設整備費用は、コンクリートの躯体部分よりも、いろいろな設備、例えば給排水や電気にかかる費用の方が高いです。躯体は問題なくても、設備などの方が30年から40年で入れ替える必要があると思います。各学校の状況、ICT設備の改善の必要性、災害対策のことを考えた場合に、利便性とコストのバランスをよく見て、80年という期間にこだわらず、例えば60年で改築するなど、柔軟な対応をする方が良いと思いました。
- **庶務課長** 冒頭の説明で、耐用年数を60年とした場合、一時的に改築校が多くなると申し上げましたが、一律、目標使用年数を80年とすると、やはり同時期に改築する学校が増えます。そのため、計画的に改築をしていく必要があります。また、躯体は問題なく使用できる場合でも、配管など埋設している部分については、定期点検の結果を注視しながら、工事内容や時期を判断したいと思います。また環境によって劣化度はかなり違うので、そのあたりも含めて柔軟に対応していきたいと考えています。
- **浅松委員** 私が学校にいたときのことですが、例えば、非常階段は命に関わる大切な場所ですが、普段利用しないため、点検の盲点となることがあります。相当数の人間の重さに耐えられるのか、朽ちている部分はないか、普段見えないところを裏から見たりもしていました。定期点検は、区役所内の担当部署で行っていただいています。異常を発見したら直ちに工事に入る体制整備や、予算の確保の方は大丈夫なのでしょうか。
- **庶務課長** 定期点検で修理が必要な箇所が見つかった場合は、工事などの対応をしています。雨漏りがあった場合は早急に業者を手配したり、台風の後には学校の方でも注意深く点検を行い、問題があったときには担当職員が学校に行き、確認をしています。子どもたちの安心・安全を確保するために、学校と教育委員会が連携して取り組んでいます。

報告事項第3・・・資料番号【資料3-1～3-7】

「令和2年度定期監査（第2回）等の結果に基づき区長等が講じた措置の公表について」庶務課長が資料のとおり説明する。

- **教育長** ただいまの説明について、何かご質疑はございますか。

- **浅松委員** 資料3-6(2)の「年次有給休暇を年5日以上取得する職員の割合を100%とする」という数値目標においては、今一步の努力で達成できるものと思われる。」と記載がありますが、「5日以上」としている根拠と、5日以上有給休暇取得していない職員の割合はどのくらいなのか。
- **庶務課長** 5日以上有給休暇取得していない職員の割合は、数%です。計画的に取得するように、指導しているところです。5日以上有給休暇取得していない職員の内訳をみると、管理職が多いという課題もあるので、改善していきます。「5日以上」としている根拠は、「墨田区職員のための仕事と子育て両立支援プラン」で、目標として掲げている数値です。
- **浅松委員** 最低5日ということですね。
- **庶務課長** はい。
- **坂根委員** 資料3-5、2段落目に記載がある、特殊勤務手当の誤支給は1件もなかったというのは大変良いことだと思います。3段落目の現金出納簿等の記帳漏れや記帳誤りが依然として多いと記載があることについてですが、今回だけの指摘ではないようなので改善してほしいと思います。
- **庶務課長** このことについては、重く受け止めておりまして、具体的にどのような取組をしなければならぬのか、検討したいと思います。
- **坂根委員** 学校の方でも誤記があるのでしょうか。
- **庶務課長** この監査結果は、教育委員会事務局の事務についてですが、学校監査でも誤記の指摘がありました。指摘が多かった学校については、教育委員会事務局が巡回指導しています。
- **教育長** 以上で、本日の議事は全て終了しましたが、そのほかに、委員の皆さんまたは事務局から何かございますか。
- **白石委員** 先日、成果発表会に出席しました。プログラムの時間どおりに進行していましたし、会場である校庭での保護者や子どもの入替えもスムーズでした。保護者の方からは、他の学年の子どもがいないから写真が撮りやすい、という好評の意見があった反面、やはり昔の運動会とは少し違うので寂しさはある、という意見もありました。子どもたちの方は、他の学年が発表をしているとき、教室から手を振っている姿があり、この状況の中で、楽しもうとする姿がありました。早くコロナが収まって、以前のような形で運動会ができるようになると良いなと思いました。
- **浅松委員** 成果発表会の開催は6月に行う学校が多いと思いますが、激しい運動や持久走等ではマスクを外す方針だと思います。ただ、保護者の判断や自己判断でマスクをつけることもあり、その線引きが学校で徹底していない状況ではないかと思います。先日、成果発表会後の校長による講評のときに、熱中症のような症状になった子どもがいた、と報告を受けました。本人も気づかないうちに、相当体力を使っていたということもあるので、それが怖いと思いました。成果発表会に限らず、体育の授業や部活動等を行う場合に、これから夏本番で暑くなってくるので、マスク着用についての指導を徹底していただきたいと思います。
- **指導室長** 先日の熱中症の発生を受けて、改めて、体育の時間、その他激しい運動、活動をする場合は、教員が児童・生徒にマスクを外すように指導することを各学校に周知しました。

文部科学省のマニュアルでは、「マスクをする必要はない」という表現だったので、これまでこの表現で周知してきたのですが、「マスクを外すように教員が児童・生徒に指示すること」という表現で周知し直しました。

- **教育長** 指示をした上で、確認する、という文言も入っていましたよね。
- **指導室長** 指示した後に、児童・生徒がマスクを外しているかどうか確認すること、という内容まで書きました。
- **坂根委員** 熱中症対策として、経口補水液は置いてあるのですか。マスクを外す以外にも、熱中症対策として、経口補水液を飲んだり、運動の前にしっかり水分をとったりすることも有効だと思います。
- **指導室長** 保健室に経口補水液を保管しています。
- **浅松委員** 墨田区では、熱中症対策として、激しい運動のときはマスクを外すよう指導することになったことに対して、保護者の方から、新型コロナウイルスの感染リスクが心配だから、本人の判断でつけたいという申し出があった場合、各学校で対応できるのでしょうか。また、そのことでトラブルになった、ということはあるのでしょうか。
- **指導室長** 文部科学省のマニュアルには、「感染不安からマスクをつけたいという児童・生徒を否定するものではない。ただし、運動中の様子に変化があったらすぐに対応すること。」という注意書きがあります。子どもの様子に注視しながら、対応していきます。また、学校から何かトラブルがあったという報告は、今のところありません。
- **教育長** 校長会でも周知したいと思います。ほかになれば、これで教育委員会を閉会します。